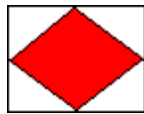


国指定重要文化財 帆船日本丸
保存修繕に向けたご寄附のお願い



帆船日本丸保存活用促進委員会

■ 帆船日本丸が重要文化財として評価された点

- ① 約 11,500 人の船員養成と国際親善や海事思想の普及に貢献したこと
- ② 希少なリベット構造と多くの鋼材がほぼ建造時のまま残されていること
- ③ ギネス記録を持つ国産初の大型ディーゼル機関（エンジン）があること
- ④ 貴重な航海日誌や工事関係図面を多く残し保存していること

ごあいさつ



帆船日本丸は、横浜港のシンボルとして市民や観光客の皆さまに広く親しまれてきました。平成29年9月には長年にわたり船員教育の任を担い我が国の海運業の発展に貢献してきたことなどが評価され国の重要文化財に指定されました。

帆船日本丸には、昭和55年に経済団体、海事、港湾等関係25団体が「帆船日本丸誘致保存促進会」を設立し、83万人もの署名を集めるとともに、募金活動を行うなど海・船・港を愛する多くの市民、企業が一丸となった熱い取組みにより誘致を実現した経緯があります。

また、横浜への誘致以来、横浜市の定期的な整備、管理とともに、ボランティアの皆さまを中心に船内の清掃や日々の整備作業を絶え間なく実施していただいているため、現在でも美しい姿を保ち続けています。

しかし、帆船日本丸は船齢88年を越え局部的には腐食や摩耗などの経年劣化が進んでおり、今後も重要文化財として未永く保存し、未来に向けて総帆展帆や海洋教室など、青少年への海洋教育、観光・MICEの振興に活用していくためには大規模修繕が必要です。

この大規模修繕事業は、横浜市が平成30年度から国（文化庁）の補助金を受けて2か年で実施する計画ですが、市民自らの手で保存していくことも重要であると考え、昭和55年の帆船日本丸誘致の際の活動と同様、再び広く市民、企業などの皆さまに募金協力をお願いするものです。つきましては、この趣旨にご賛同いただき、2か年で3,000万円の募金活動为目标に、できるだけ多くの皆さまのご協力をお願い申し上げます。

平成30年6月吉日

帆船日本丸保存活用促進委員会 委員長 上野 孝

帆船日本丸保存活用促進委員会 役員一覧（平成30年6月13日現在）

敬称略

◇ 委員長

上野 孝（横浜商工会議所会頭）

◇ 副委員長

武藤 光一（（一社）日本船主協会会長）/ 布留川 信行（（公財）横浜観光コンベンション・ビューロー理事長/

金近 忠彦（公財）帆船日本丸記念財団会長）

◇ 常任委員

藤木 幸夫（（一社）横浜港振興協会会長）/ 友田 勝己（（一社）横浜みなとみらい21理事長）/ 金子 勝雄（横浜市西区連合町内会・自治会連絡協議会長）/ 山口 宏（（公財）横浜市体育協会会長）/ 山谷 朋彦（（一社）横浜建設業協会会長）/ 小此加 恒久（日本内航海運組合総連合会会長）/ 森田 保己（全日本海員組合組合長）/ 山本 勝（（一社）海洋会会長）/ 酒迎 和成（（一社）全日本船舶職員協会会長）/ 鳥海 憲彦（帆船日本丸友の会代表幹事）/ 伊東 慎介（横浜市港湾局長）

委員会にご参加及びご後援いただいた団体・企業等

平成 30 年 8 月 31 日現在

順不同

【参加団体・企業等】

横浜市/横浜商工会議所/(公財)帆船日本丸記念財団/(一社)神奈川県経営者協会/(一社)神奈川県経済同友会/(一社)横浜港振興協会/横浜はしけ運送事業協同組合/(一社)横浜市工業会連合会/(公社)神奈川県観光協会/(公財)横浜観光コンベンション・ビューロー/(一社)横浜みなとみらい21/(株)横浜国際平和会議場/みなとみらい21 熱供給(株)/東日本旅客鉄道(株)/横浜高速鉄道(株)/東京急行電鉄(株)/京浜急行電鉄(株)/相鉄ホールディングス(株)/(公財)日本修学旅行協会/(株)JTB 横浜支店/(株)横浜銀行/(株)横浜ロイヤルパークホテル/(株)横浜グランドインターコンチネンタルホテル/(株)ローズホテルインターナショナル/(株)横浜ベイホテル東急/ホテルニューオータニイン横浜プレミアム/(一財)日本船員厚生協会ナビオス横浜/(株)そごう・西武横浜店/(株)横浜高島屋/泉陽興業(株)/岩井の胡麻油(株)/西区連合町内会・自治会連絡協議会/中区連合町内会長連絡協議会/山下公園通り会/(一社)日本船主協会/横浜船主会/(一社)日本船長協会/日本内航海運組合総連合会/全日本海員組合/東京湾水先区水先人会/(公財)海上保安協会/(一社)海洋会/(一社)全日本船舶職員協会/若葉会/まんぼう会/三菱地所(株)/三菱重工業(株)横浜製作所/(公社)日本港湾協会/(一社)ウォーターフロント協会/(一社)横浜建設業協会/(一社)日本理立浚渫協会関東支部/五洋建設(株)/東亜建設工業(株)/東洋建設(株)/(一社)美港都市横浜を創る会/(NPO)ともに浜をつくる会/(公財)横浜市体育協会/横浜海洋少年団/(一社)横浜海洋福祉協会/帆船日本丸友の会/帆船日本丸ガイドの会/帆船日本丸ボランティアかもめ会/ガールスカウト横浜市連絡協議会/横浜カヌー協会/(NPO)横浜シーフレンズ/横浜帆船模型同好会/帆船日本丸を愛する男性合唱団

【後援団体・企業等】

海上保安庁第三管区海上保安本部/海技教育機構/東京海洋大学/横浜国立大学/神奈川大学/朝日新聞横浜総局/読売新聞横浜支局/産経新聞社横浜総局/神奈川新聞社/日本海事新聞社/テレビ神奈川

帆船日本丸の大規模修繕工事について（期間：平成 30 年度～31 年度）

ドック内の海水をすべて排水し、ドライドックの状態にして、老朽化している船体・船底をはじめ、甲板やヤード・マストなどの修繕を行います。

場所	修繕内容
船体・船底	鋼板等の腐食部分の修繕を行います
甲板・漏水	木甲板の張替え、エントランスからの漏水防止工事等を行います
ヤード・マスト	ひび割れたヤード（帆桁）の交換等を行います
リギン	老朽化ワイヤーの塗装、交換、防錆工事等を行います
機関・居室	搭載機器、居室等の修繕を行います



平成 3 年（1991 年）の大規模修繕工事状況

事業費：約 6 億円

ご寄附のお申込みについて

別添パンフレット「国指定重要文化財 帆船日本丸存のためのご寄附のお願い（公益財団法人帆船日本丸記念財団）」に折り込んである寄附申込書に所定の事項をご記載していただき、郵送かファクシミリにて公益財団法人帆船日本丸財団にお送りください。

ご寄附の内容（概要）

	帆船日本丸 サポーターズ	賛助会員		名誉船長会員
		一般寄附	高額寄附	
個人の方	学生 1口 1,000円~/年 一般 1口 3,000円~/年	1口 1万円以上	1口 10万円以上	1口 50万円以上
団体・法人の方	1口 2万円~/年 ※1	1口 2万円以上	1口 20万円以上	1口 100万円以上
特典① 帆船日本丸入館 招待券の贈呈	個人 2枚/1口 団体・法人 5枚/1口	5枚/1口（ご寄附 後1年間）	企画展開催（年2 回）ごとに5枚/1 口（合計10枚）（ご 寄附後1年間）	10枚（永年）
特典② 氏名等の表示	団体・法人のみ ※2	—	※2	※2

※1 ご寄附を10年以上ご継続していただける団体・法人様が対象になります

※2 横浜みなと博物館ロビー及び帆船日本丸記念財団ホームページに氏名又は団体・法人名を表示します（希望者のみ）

ご寄附の詳細や寄附申込書のダウンロードは、次のURLをご覧ください。

<http://www.nippon-maru.or.jp/supporters/>

お振込み先

横浜銀行 本店営業部 普通口座 0381659
公益財団法人帆船日本丸記念財団

ご入金確認後、公益財団法人帆船日本丸記念財団から寄附金受領証明書を発送します。

※証明書の発行は原則1回につき3,000円以上のご寄附の場合とさせていただきます。

税制上の優遇について

上記受領証明書を確定申告書に添付することにより、所得税、法人税の控除が受けられます。



■ 問合せ

公益財団法人帆船日本丸財団 総務課
〒220-0012 横浜市西区みなとみらい2-1-1
電話 045-221-0280 FAX 045-221-0277

<http://www.nippon-maru.or.jp>